



富士特別野営2017概要報告



1. 期 間 平成29年8月12日（土）～18日（金） 6泊7日

2. 場 所 ボーイスカウト日本連盟 山中野営場、他

3. 目的・ねらい

目 的：スカウト運動の基本である野外活動（野営）を通じて、その重要性を確認し、班制教育を通じての「教わること」「学ぶこと」を再確認する。

プログラムとしての試練を乗り越える体験の中から、信頼・絆の大切さと、友情を育み、スカウトスピリッツ（徳性、忍耐力、気力、清貧）を実践する。

- ねらい：
1. ステータスを持つ名誉ある野営大会とする。
 2. 本格的な野営、ウッドクラフトを体験する。
 3. チームワーク、スカウト技能・知識、体力で乗り越えていくもので、躍動的で系統的な活動プログラムを設定する。
 4. 進級・履修細目の認定は隊長の専任事項であるとの見地から、ベンチャースカウト部門の進級細目の履修は主体としない。
 5. 富士山麓・富士五湖に位置する山中野営場の特色を活かした場外種目を設定する。

4. 参 加 者 スカウト 15県連盟53人

隊指導者・上級班長 比地原（東京）、佐藤（東京） 各隊長、他8人

大会本部・スタッフ 奥島大会長、膳師副大会長、福嶋野営長、他26人

ローバースカウト年代 12県連盟23人

5. 来 賓 吉田俊仁常務理事、小町國市理事、山内直元理事、増子恵二理事、
中川玄一評議員、森谷治男名誉会議議員

6. 協 力

アイコム株式会社	：プログラム用無線機の供給
日本光電工業株式会社	：AEDの供給
日本ライフセービング協会	：水上安全訓練のプログラム支援
水島医院	：受付時のメディカルチェック
ミズノ株式会社	：大会ポロシャツの作成

（50音順）

7. 大会役員

(1) 大会本部役員

大会役務	氏名	役職
大会長	奥 島 孝 康	日本連盟理事長
副大会長	膳 師 功	日本連盟理事・日本連盟コミッショナー
野営長	福 嶋 正 己	日本連盟プログラム委員長 富士特別野営2017実行委員長

(2) 大会本部班長

大会役務	氏名	役職
総務班長	楡 原 仁	富士特別野営2017実行委員（東京連盟）
野営管理班長	氏 家 邦 政	富士特別野営2017実行委員（愛知連盟）
プログラム班長（場内）	松 下 修 造	富士特別野営2017実行委員（大阪連盟）
プログラム班長（場外）	栗 田 哲 郎	富士特別野営2017実行委員（神奈川連盟）



8. 大会の準備

事前の準備は、平成28年度に実行委員会（福嶋正己委員長）を2回、平成29年度に2回開催し、同委員会のもとに3つの班を編成して班毎に具体的な諸準備が進められた。

山中野営場の利用は今大会が最後となり、今後は場所を移して開催することから、次回大会に向けた評価を行うため大会後の実行委員会を高萩スカウトフィールドで開催する予定である。

9. プログラム

富士スカウト章及び隼スカウト章を取得したベンチャースカウトを対象とした名誉ある野営大会として、北は福島、南は福岡から53人が集まり、2隊8班に分かれた一週間の長期野営と冒険的なプログラムの中で仲間との絆を深めつつ、高度な技能を發揮した。

期間中は連日の雨、また山中野営場特有の高湿度と気温の低下も重なる厳しい条件での野営となった。一泊ハイキングは心身ともに厳しいものとなったが、一人一人の高い意志とチームワークにより全員が制限時間内に完歩した。

なお、大会をとおして、下記のテーマのもとプログラムを展開した。

【プログラムテーマ】

「ふじやまなかファイナルファンタジー」

日本中がまだ国造りを終わらず、あちこちで山や湖ができていた頃、諸国の山々は競って背くらべをしていた。中でも富士山と八ヶ岳は高いことで有名で、目測では甲乙付けがたいので阿弥陀如来に判定を頼んだ。すると阿弥陀如来は「正直な水の流れて決めよう」と両山に樋をかけ水を流したところ、水は富士山の方へ流れて行った。怒った富士山が八ヶ岳の頭をたたくと頂上は崩れ、八つの峰が出来上がった。

全国から集まった富士を目指す諸君！

この富士山周辺、富士山にまつわる雑学やトリビアなどを、実際に自分の足で歩き、作り、漕ぎ、研究してくれたまえ！まずは、山中の国にある竹林で光り輝く竹を見つけ、その竹を切り、中に入っている暗号文の書いた紙を見て実行してくれ。

ただし、実行するには、この大自然の驚異を乗り越えるだけの、スキルが必要である。まずは、出発までにそのスキルを確認し準備にそなえてくれ！実行にあたっては、指示書に従って、計画書の作成を行う。

スキルのポイントは、「縛る」「測る」「送る」「泳げる」「調べる」の要素に関連するスキルを事前準備として訓練実施が不可欠である。実行後は、報告書としてまとめ提出をして欲しい。明日から実行するために、計画をせよ！

【主なプログラム】

前日～受付前（11日～12日AM）RS訓練、スタッフ会議

スタッフは前日から集合し、大会開催の準備やプログラムの確認などを行った。プログラム班に配属となったローバースカウトは、基本動作やパイオニアリングについて、実際に展開されるプログラムを体験することを通じて訓練を実施した。



第1日（12日） 設営、開会式

全国から参加者が集合し、隊編成をした後に設営を実施した。日が暮れた後に実施した開会式では、代表スカウトが奥島大会長の前で宣誓を行った。



第2日（13日） パイオニアリング

想定 「はるか昔、富士山はダイダラボッチという巨人が甲州の土を取り、土盛りして作ったという伝説がある。諸君には、ダイダラボッチにちなみ、巨人に負けないような大きな構築物を作成してもらいたい。」

隊毎にピラミッド信号塔を2基ずつ作成した。途中、雨脚が強まったことから作業を中断したこともあり、両隊ともに完成には至らなかった。その後の班長会議において、なんとしても完成させたいという要望が挙がったため、翌日も継続して実施することとした。



第3日（14日）パイオニアリング（続き）、場内外ハイキング、歓迎の営火

想定 「諸君もよく知る「かぐや姫伝説」。かぐや姫は月に帰ったというのが通説だが、どうも富士山のふもとでは、かぐや姫が帰ったのは月ではなく、違う場所だという言い伝えがあるらしい。諸君には付近を探索し、富士山のふもとに伝わるかぐや姫伝説の結末を確認して欲しい。また、同時に由緒あるこの山中野営場についても、諸君には知識を深めてもらいたい。」

前日に引き続き信号等の作成に取り掛かり、全基完成に至った。

場内ハイキングでは湧き水の水質調査や、道心堅固の碑のスケッチ、計測等を行った。場外ハイキングでは、地図とコンパスを用いて、野帳をつけるハイキングを実施した。



第4日（15日）感謝の集い、水上訓練

終戦記念日であることから平和に感謝し、その感謝の気持ちを行動で示すプログラムをスカウト自ら計画し、実施した。場内の清掃をする班もあれば、野営場への「感謝の歌」を作成して披露する班もあった。午後は、翌日からの筏での山中湖横断に備えて、日本ライフセービング協会の指導員による指導のもとで、身近なものをういた実践的な溺者救助の訓練を行った。



山中野営場感謝の歌

作詞：富士特別野営 2017 タンチョウ班

1. 富士山のふもとに広がる野営場
木々かきわけて 現わる聖地
先達を 轟出せしめ 明日へ行く
2. 長い歴史に幕を閉じ 別れを告げる
たとえここを去ろうとも 我らのふるさと かわりなし
3. 山中の思い出つなく 忘れない
仲間を信じ 歩み続ける
希望を胸に 未来へはばたく

第5日（16日） ハイキング（1日目） 山中野営場→湖明荘マリーナ→（筏での山中湖横断）→山中湖畔→大平山→平尾山→石割山→二十曲峠→出口池、仮野営（昭福荘キャンプ場）
 指示書に従って、一泊ハイキングに出発した。激しい雨が降りしきる中、筏を作成し山中湖を横断した。対岸に到着後、大平山を登るハイキングの後、仮泊地にてブルーシートを用いた仮野営を実施した。



第6日（17日） ハイキング（2日目） 昭福荘キャンプ場→忍野→山中湖畔→（筏での山中湖横断）→湖明荘マリーナ→野営場、キャンプファイア、閉会式

早朝に仮泊地を出発し、忍野でそれぞれが計画した調査を実施した後に、再度筏にて山中湖を横断し、全員が制限時間内に山中野営場に帰営した。帰営後はキャブファイアで別れの前の楽しいひと時を過ごした。閉会式では全てのスカウトに完修章が授与された。



第7日（18日） 撤営、解隊式、解散

キャンプサイトを撤収した後に、隊毎に解散式を行い、それぞれが帰途についた。その後、スタッフも解散となった。



10. 参加者内訳

No	所属連盟	スカウト			スタッフ		合 計
		男子	女子	小計	指導者	RS	
1	福 島	1		1			1
2	茨 城					1	1
3	群 馬	3	1	4		1	5
4	埼 玉	2		2			2
5	千 葉	1		1	1	1	3
6	神奈川	6		6	3		9
7	東 京	6	3	9	11	5	25
8	長 野				1		1
9	岐 阜					2	2
10	静 岡				1		1
11	愛 知	1	2	3	8	2	13
12	三 重	1		1			1
13	滋 賀	1	2	3		4	7
14	京 都	1	3	4			4
15	兵 庫					1	1
16	奈 良	1		1	1	2	4
17	和歌山				1		1
18	大 阪	6	4	10	5	4	19
19	岡 山	1	3	4	1	1	6
20	愛 媛	1		1			1
21	福 岡	1	2	3	2	1	6
合 計		33	20	53	35	25	113

以 上